

# コンビニがお客さんを奪う

## ～業態別の利用減少率ランキング～

コンビニエンスストアの商品やサービスが進化しています。その結果、他の業態にどのような影響を及ぼしているかを調査した結果、入れたてコーヒーやレジカウンター横のドーナツなどが登場し、外食産業のお客さんをコンビニが奪っているようです。

《8業態の利用減少率ランキング》

減少率	企業名	業 態
27.5%	マクドナルド	ファーストフード
26.7%	スターバックスコーヒー	カフェ
21.0%	ドトールコーヒー	カフェ
17.9%	ミスタードーナツ	ファーストフード
17.8%	ほっともっと	弁当チェーン
12.7%	ほっかほっか亭	弁当チェーン
11.7%	ガスト	ファミリーレストラン
8.6%	吉野家	牛丼チェーン
7.4%	すき家	牛丼チェーン
6.6%	イオン	スーパー
5.6%	サイゼリヤ	ファミリーレストラン
4.7%	イトーヨーカ堂	スーパー
4.2%	マツモトキヨシ	ドラッグ・ディスカウントストア
4.1%	ドン・キホーテ	ドラッグ・ディスカウントストア
3.8%	丸亀製麺	どんぶり・中華・うどんそばチェーン
3.5%	大戸屋	どんぶり・中華・うどんそばチェーン

※有力外食・小売りチェーン72店のうち、業態ごとに減少率上位2社を記載

他の業態の売上を奪うコンビニですが、コンビニで取り扱えば自動的に売れるというものではありません。従来のものよりもコスト・パフォーマンスが良くなければ売れません。その工夫として、例えばセブンイレブンは、チーム・マーチャンダイジング(共同開発チーム)を起ち上げて、複数の関連会社と共に企画を練り、商品化までに何度も何度も試行錯誤を繰り返して、今までに無かったレベルのものを創り出します。その取り組みの積み重ねで、もはやコンビニの競争相手はコンビニだけではなくなったのです。